

かなくらのやま やまこし
コース34 金倉山と山古志

リーダー CL M/T SL K/T
 実施日 平成28年9月17日(土) 天 候 曇りのち雨 グレード B
 参加者 23人(男性 3 女性 20)
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:55	新津西IC～栄PA(休憩) 関越道
長岡南越路IC	8:10	8:10	23-498-17-689-516 走行
木喰観音堂登山口	8:35	9:00	木喰観音拝観 集合写真 1班より出発
第2の展望所	9:50	9:55	第1の展望所で休憩 棚田と山々を観賞
三宅神社奥社	10:50	11:00	途中の広場で休憩 眺望可
金倉山山頂	11:25	12:20	昼食 休憩写真
薬師の森	12:50	13:05	棚田と集落を十分に観賞
アルパカ牧場	13:30	13:25	班ごとに撮影
山古志復興記念館	13:55	14:30	長岡南越路IC、黒崎PA(休憩) 西IC
秋葉区役所前	16:30		予定より早めに帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- 天気予報は曇り2時過ぎから雨との事。何とか行動中に降らないようにと願いながら出発。
- 当日は幸運にも登山口に当たる新潟県指定文化財の木喰観音堂の開帳日(毎月17日)に当たり、拝観してから出発。
- 登山口からは両サイド花をつけた茗荷畑と釣船草の大群生に迎えられる。
- 所々秋の色々な花に出会えたが、やがて藪こぎが始まり、次は蜘蛛の巣払いが続く。



金倉山山山頂にて

(地元で電話で聞いたときは、よく整備されおり問題なしとのことであったが)

- 展望のきく所からは見事な棚田、養鯉池をながめ、時間をかけて登る。
- 山頂の展望台では360度のパノラマ、飽きることなく魚沼三山、雄大な信濃川の流れを見つつ昼食をとる。
- 下山後、山古志の素晴らしい棚田、養鯉池、集落を見渡せる「薬師の森」に立ち寄る。
- アルパカ牧場では県外ナンバーの車が止まっており、まず隣接する野菜直売所にて新鮮で安価な野菜を購入。ひと時、一同主婦になる。その後三本色が白、黒、茶、ブチ等のアルパカをしばし愛でる。
- 山古志復興交流館「おらたる」では、「震災経験と山の暮らし」を上映していただく。
- 帰路、長岡越路ICに入ったら雨が降り出す。
- 行動中に雨に遭わなかったことを天に感謝した一日だった。

「金倉山と山古志」に参加して

(1665) A/S

暑い夏、前回参加した山行ではダウン寸前に近かった自分の体力考え「金倉山と山古志」への申し込みをためらったが、登山計画書にあった「山頂の展望台360°」に惹かれて申し込みました。期待半分、不安半分……。

木喰観音で参拝してから観音堂近くの登山口からゆっくりペースで登り始めました。9月半ば、暑さが少し和らいだこともあり、前回の山行の時ほど苦しさを感せず登ることが出来ました。眺めの良い所での休憩、眼下には稲刈り間近の棚田と光を反射している養鯉池、素晴らしい光景が広がります。「ああ、来て良かった。」疲れが吹き飛んでしまいます。

山道から舗装道路に出て、再び山道に入ると急な登りに入り、背後に信濃川が見え、元気を取り戻しました。

頂上（そこは金倉山の頂上ではなく、隣の山の山頂なのですが）に着くと「三宅神社奥の院」と書かれた石柱が立っており、そこからは金倉山の山頂展望台が見えました。

頂上に着き展望台に登りました。眼下には棚田と養鯉池、西側には信濃川、360°の大パノラマです。八海山、中の岳、越後駒ヶ岳の越後三山が見えます。目の前に広がる光景に、このコース参加して良かったという思いと、いつかあの山登ってみたいという思いをもちました。

2時間ほどかけて登った山でしたが、下山は10分程で駐車場に着きました。駐車場



アルパカ牧場にて 4班の皆さん

からは金倉山山頂までは10分程で登ることが出来ますが、今回は登りを楽しむコースでした。

下山後、棚田を眺望できる展望台、アルパカ牧場、山古志復興交流館を訪ねました。上映された映画では、秋の深まりの中での里山の風景と生活、中越地震から力強く復興してきた山古志を見ることが出来ました。

参加申し込み時は不安一杯でしたが、終わった後は満足感で一杯でした。このような山行が出来たのは、リーダーさんのきめ細かな下調べと歩きのペース配分や休憩など心配りがあったからだと思います。山行途中、山の名前や植物名を教えてもらったりおしゃべりしたり、参加された方々にもお世話になりました。たくさんの方々に感謝です。「また、参加しよう」と思う山行でした。